

みんなの卓球

新日本スポーツ連盟
市原卓球連絡会
ニュース No.53
発行者 伊藤猛明
ichihara.tt@mbn.nifty.com

市原オープン団体戦を開催

卓球で楽しい一日

梅花が咲揃った2月27日に

第13回市原オープン団体戦、2月12日に同大会の2部として愛好者卓球大会とともに市原市中央武道館において開催しました。両会場には県内各地から105チーム、538名の選手や愛好家が参加し、

一日卓球を楽しみました。

この大会は、全国スポーツ祭典卓球大会などにおいて採用されている2ダブルス3シングル方式の団体戦です。オープン大会は3チームによるリーグ戦後、リーグ戦の順位で1部から3部にわかれ、決勝トーナメントを行い、「愛好者大会」は5チームから7チームによる総当たりのリーグ戦を行いました。

試合結果は次のとおりです

▽男子1部

- ①赤翔馬B ②新山クラブ
- ③ボンバーズA ③赤翔馬C

▽男子2部

- ①赤翔馬A ②船橋卓友会A
- ③ひまわり ③赤翔馬F

▽男子3部

- ①ポピンズA ②卓愛会
- ③三和ラビット ③SKY・I

▽女子1部

- ①桜ヶ丘クラブ ②千城クラブ
- ③フリーダムA ③東邦大学

▽女子2部

- ①富士AEクラブ ②Bears
- ③船橋卓友会A ③卓球アリス

▽女子3部

- ①かずさA ②フリーダムB
- ③ラッキーズ ③船橋卓友会B

愛好者卓球大会

▽男子

- Aブロック ①Team・Aoyama
- Yama ②KCP C
- Bブロック ①菊間卓球クラブ
- A ②中央クラブB
- B Cブロック ①茂原クラブ ②あすなろB

▽女子

- Aブロック ①チームへなちよこ
- ②Team・Aoyama
- ②A
- Bブロック ①大当会
- ②中央クラブ
- B Cブロック ①ひまわり
- ②ベルダム
- 土気
- Cブロック ①菊間卓球クラブ
- ②CTC



(写真) 大会風景

感想を紹介します

《泥谷恭子 桜ヶ丘クラブ》

試合数が多くて楽しかったです。試合進行もゆったりしていて、気持ちもいい気分です。試合にのぞめました。役員さんの方にも良くしていただき、神奈川では味わえないのびのびした気持ちで試合ができました。

《松本好江 Bears》

たくさん試合が出来る為、チーム力と各自の技術力アップの為にいつも参加させて頂いておられます。試合に参加する事で、友人とのお互いの元氣も確認できるので、そのためにも、出来る限り参加し続けたいと思っております。

2011年度の子定

市原卓球連絡会	期日	開場	種目
市原オープンダブルス大会	5月4日(休日)	市原中央武道館	男・女ダブルス
第15回ミックスダブルス大会	7月31日(日)	同	ミックスダブルス
市原“愛好者”卓球大会	2月4日(土)	同	2D1S団体戦
第14回市原オープン(団体戦)	2月26日(日)	同	同
かずさ卓球協議会			
初心者・中級者大会	6月25日(土)	君津市体育館	男女各2名で3ダブルス
第16回内房スポーツ祭典卓球大会	10月23日(日)	同	
ミックスペアマッチ	1月29日(日)	同	

第一回ミックスペアマッチ開催

かずさ卓球協議会

かずさ卓球協議会は1月30日、「第1回ミックスペアマッチ」(1ミックスダブルス、2シングルス 2人で団体戦)をおこないました。寒風のなか、72ペアが一日卓球を楽しみました。

1番のミックスダブルスに負けたペアが2番のシングルスの出場選手(男性または女性)を選べるため、3番まで熱戦が繰り広げられました。

入賞ペアは次のとおり

この大会は、かずさ卓球協議会が運営する大会としては3回目で、リーグ戦後、順位トーナメントをおこなう大会としては初めてとなります。

▽1部

①伴野・高橋

(フアンーフレンズ)

②笹川・須藤(富津クラブ)

③小林・柳沢(FCC)

③吉田・三浦(フォルテ)

▽2部

①西嶋(和)・西嶋(千)

(ポピンズ)

②松本・若井(ポピンズ)

③西嶋(美)・堀井(ポピンズ)

③荒井・高橋(富津クラブ)

▽3部

①仲村・関(かずさ)

②清水・細谷(エンゼル)

③松本・村松(茂原クラブ)

③山崎・園田(エンゼル)



(写真) 1部優勝での男子の対戦風景



第一回社会人・学生交流卓球大会

(in市原武道館) が開催される

公式試合の感覚で、とてもよい経験

新年早々の1月5日、市原市中央武道館において第1回社会人・学生交流卓球大会(団体戦)が同大会実行委員会の主催のもとにおこなわれました。

この大会は、中・高校生や大学生などが社会人と交流できる場がほしいという声に応じ、卓球クラブの「赤翔馬」、新しく卓球メーカーの承認がおりた「ワールドラバーマーケット」(本社・市原市根田)、「新日本スポーツ連盟市原卓球連絡会」の3団体が実行委員会を結成し(責任者・山口隆一)、多くの卓球関係者の協力を得ながら開催されたものです。

この日、23の学校やクラブから41チーム(男子33チーム、女子8チーム)、195人の選手が熱戦を繰り広げました。

参加の対象は、会場の関係(24台)から千葉県および近隣の都県の上位チームに限定し案

内を送りました。千葉県内だけでなく東京や神奈川県で活躍するチームの参加がありました。

種目は4シングルス、1ダブルスの団体戦で、男子は3チームでのリーグ戦後、リーグ戦の順位で1部から3部にわかれトーナメントがおこなわれ、女子は4チームでのリーグ戦後、1位と2位を1部、3位と4位を2部(交流試合)としてトーナメントがおこなわれました。

惜しくもトーナメントで早く敗退したチームには、交流試合が設定されており、時間ぎりぎりまで腕を振るっていました。参加者からは、「練習試合であるが公式試合の感覚で試合ができ、とてもよい経験となった。継続して開催してもらいたい」との感想が寄せられました。

今回、責任者として尽力していただいた山口隆一さんは、「中学生の卓球部員は高校に入って

卓球をしない人が多い。また、高校卒業後も卓球を続けたいが、大学の卓球部の雰囲気や社会人となり仕事と卓球の両立をはかるイメージがわからないというところ聞く。この企画をおしてたくさんの人に卓球を続けてもらいたい。そして卓球のすそ野を広げたい」と述べていました。市原卓球連絡会は、大会の準備や当日の進行など運営全般におけるアドバイザーとしての役割を果たしました。

主催者の規定による入賞チームは次のとおりです。

▽男子1部

①市川高校A

②WRM・A

③千葉商科大学

③東京大学A

2部①東京大学B

3部①赤翔馬D

▽女子1部

①木更津東A

②神奈川県立

綾瀬高等学校

③東海大望洋高校

③木更津東B